

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	085										
事務事業名	管理運営経費(中学校費)				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	03	目	01	事業	01		
担当部	教育委員会	担当課	学校教育課		担当係	総務			係												
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市教育大綱)										根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)									

2 事務事業の目的		①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。	
現状課題	学校の教育環境として、学校図書の実用や学校ICT環境整備が必要である。また、学校医等の配置により生徒の健康管理を行う必要がある。	誰・何を対象に	中学校5校、児童数1,677人、教職員数561人
		どのような方法・手順で	学校医、歯科医、薬剤師の配置により、児童の健康管理を行うほか、ICT環境整備や図書の充実により、児童の健全育成に努める。
望ましい状態	校内環境を良好に保ち、生徒が安全安心な環境で教育を受けることができる。		

3 事務事業の主たる成果指標		数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。	
指標名	単位	目標値	目標年次
			年度
指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		当該事業は、市内の中学校に通う生徒が生き生きと充実した中学校生活を送るために学校を運営していくことを最終的な目標としている。よって、全体事業の中の一部の個別事業のみを成果として捉えることは困難であるため、成果指標は設定しない。	

4 事務事業の実績 ㉑		当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。	
年度	2016年度	2017年度	2018年度
	業務名	活動量	業務名
事務事業を構成する主な業務	① 報酬(学校医、学校歯科医、学校薬剤師)	4回以上	① 報酬(学校医、学校歯科医、学校薬剤師)
	② 賃金(学校臨時職員賃金)	1年	② 賃金(学校臨時職員賃金)
	③ 需用費(消耗品、光熱水費、コンピューター学習用消耗品)	随時	③ 需用費(消耗品、光熱水費、コンピューター学習用消耗品)
	④ 役務費(電話料、教材調整手数料、クリーニング代)	随時	④ 役務費(電話料、教材調整手数料、クリーニング代)
	⑤ 委託料(健康診査、学校情報通信システム保守等委託料)	随時	⑤ 委託料(健康診査、学校情報通信システム保守等委託料)
	⑥ 使用料及び賃借料(教育用コンピューター、学校情報通信センターシステム機器、OA機器借上料)	随時	⑥ 使用料及び賃借料(教育用コンピューター、学校情報通信センターシステム機器、OA機器借上料)
	⑦ 備品購入費(図書、諸備品購入費)	随時	⑦ 備品購入費(図書、諸備品購入費)
	⑧		⑧
	⑨		⑨
	⑩		⑩
	⑪		⑪
	目標値に対する実績値		目標値に対する実績値
決算額	計 116,930,066 円	内 特定財源 0 円	一般財源 116,930,066 円
	計 102,838,868 円	内 特定財源 0 円	一般財源 102,838,868 円
	計 100,563,915 円	内 特定財源 0 円	一般財源 100,563,915 円
	(住民一人あたりの行政コスト) 1,923 円	(住民一人あたりの行政コスト) 1,701 円	(住民一人あたりの行政コスト) 1,676 円

5 担当者評価 ㉒		実施したことによる成果や問題点を記入してください。	
成果	目標は設定していない	成果内容	現場の先生方との情報の共有により、校内環境を良好な状態に保つことができた。
問題点	特になし		

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓		担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	中学校の運営上必要不可欠な経費である。また、教育環境の現状をつかみ、生徒の健康管理を行い良好な環境状態での学校生活を送るために必要と考える。		

7 実施計画 ㉔		今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。		
年度	2019年度	2020年度	2021年度	
事業内容	【報酬】(学校医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 110,000円×6人 (学校歯科医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 100,000円×4人 (学校薬剤師報酬) 50,000円×5人	【報酬】(学校医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 110,000円×6人 (学校歯科医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 100,000円×4人 (学校薬剤師報酬) 50,000円×5人	【報酬】(学校医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 110,000円×6人 (学校歯科医報酬) 水海道地区 127,000円×5人 石下地区 100,000円×4人 (学校薬剤師報酬) 50,000円×5人	
	【賃金】(用務員) 5,400円×240日×7人 (給食補助員) 850円×3h×190日×9人 (図書館整理事務補助員) 850円×3h×190日×5人	【賃金】(用務員) 5,400円×240日×7人 (給食補助員) 850円×3h×190日×9人 (図書館整理事務補助員) 850円×3h×190日×5人	【賃金】(用務員) 5,400円×240日×7人 (給食補助員) 850円×3h×190日×9人 (図書館整理事務補助員) 850円×3h×190日×5人	
	【需用費】消耗品、光熱水費、コンピューター学習用	【需用費】消耗品、光熱水費、コンピューター学習用	【需用費】消耗品、光熱水費、コンピューター学習用	
	【役務費】電気料、教材調整手数料、クリーニング代	【役務費】電気料、教材調整手数料、クリーニング代	【役務費】電気料、教材調整手数料、クリーニング代	
	【委託料】健康診査委託料、学校情報通信センターシステム保守等委託料	【委託料】健康診査委託料、学校情報通信センターシステム保守等委託料	【委託料】健康診査委託料、学校情報通信センターシステム保守等委託料	
	【使用料及び賃借料】教育用コンピューター借上料、学校情報通信センターシステム機器借上料、OA機器借上料	【使用料及び賃借料】教育用コンピューター借上料、学校情報通信センターシステム機器借上料、OA機器借上料	【使用料及び賃借料】教育用コンピューター借上料、学校情報通信センターシステム機器借上料、OA機器借上料	
	【備品購入費】図書購入費、諸備品費	【備品購入費】図書購入費、諸備品費	【備品購入費】図書購入費、諸備品費	
	【追加事業】学校ICT(Windows7/パソコンのOSバージョンアップ)21台	【追加事業】学校ICT「次期教育情報化推進計画」等の策定 1,136,800円	【追加事業】学校ICTシステム設定費5,000,000円	
	成果指標	指標名	単位	目標値
	予算額	歳出	計	104,029 千円
		歳入	特定財源	0 千円
一般財源			104,029 千円	
計			104,029 千円	
歳出	計	104,029 千円		
歳入	特定財源	0 千円		
	一般財源	104,029 千円		
	計	104,029 千円		

8 財務アドバイザーの見解	
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。	

9 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。学校の運営上必要不可欠な経費と考える。引き続き、教育環境の現状をつかみ、生徒の健康管理を行い良好な環境で学校生活を送れるよう、現場や教育委員会から要望を聞くなどし、教育環境の整備に努めること。	

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	校内における健康診断や歯科検診、校内環境の整備は、生徒の健全育成のためにも大切な事業であることから継続すべき事業である。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖		実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。	
事業内容			